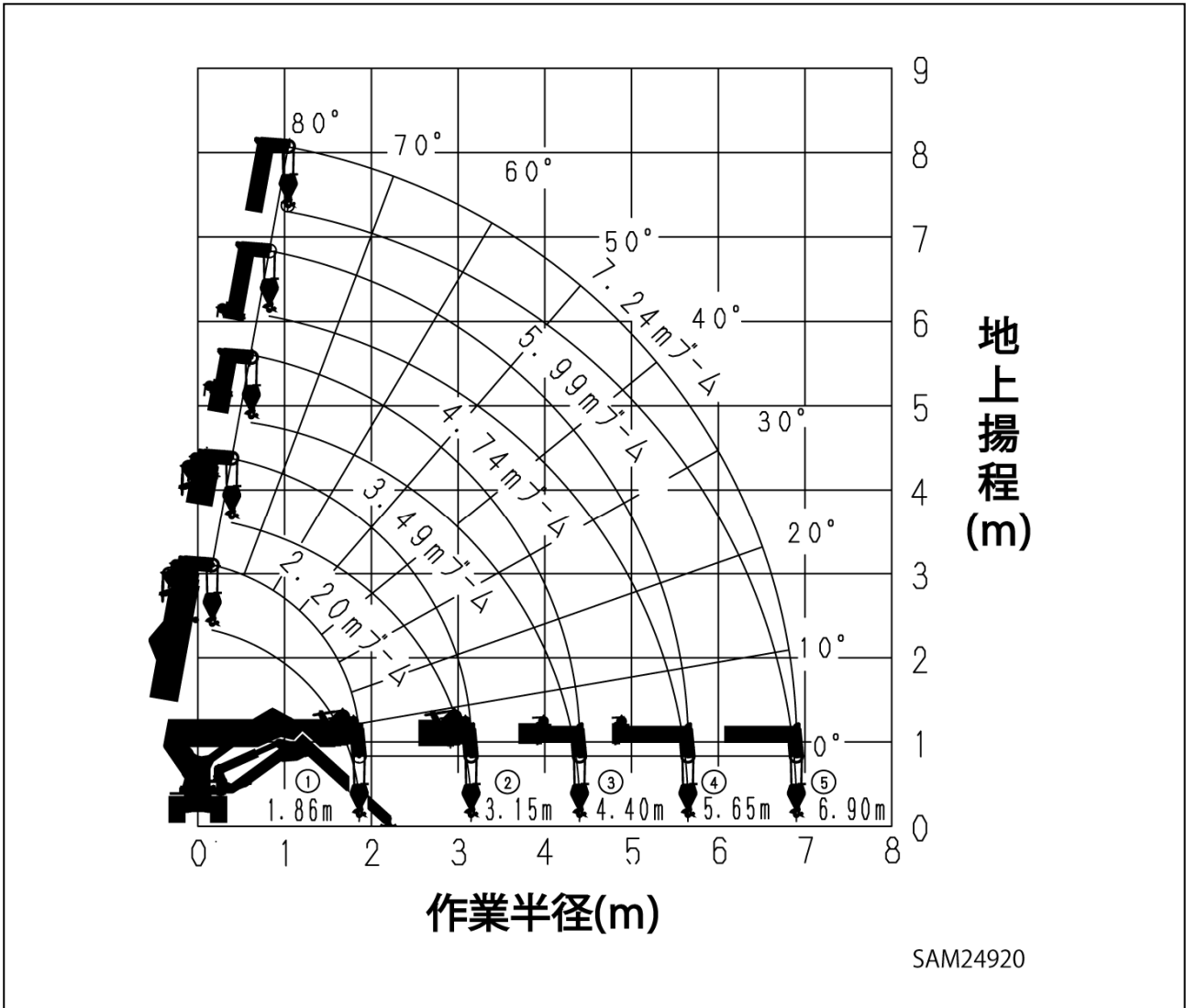
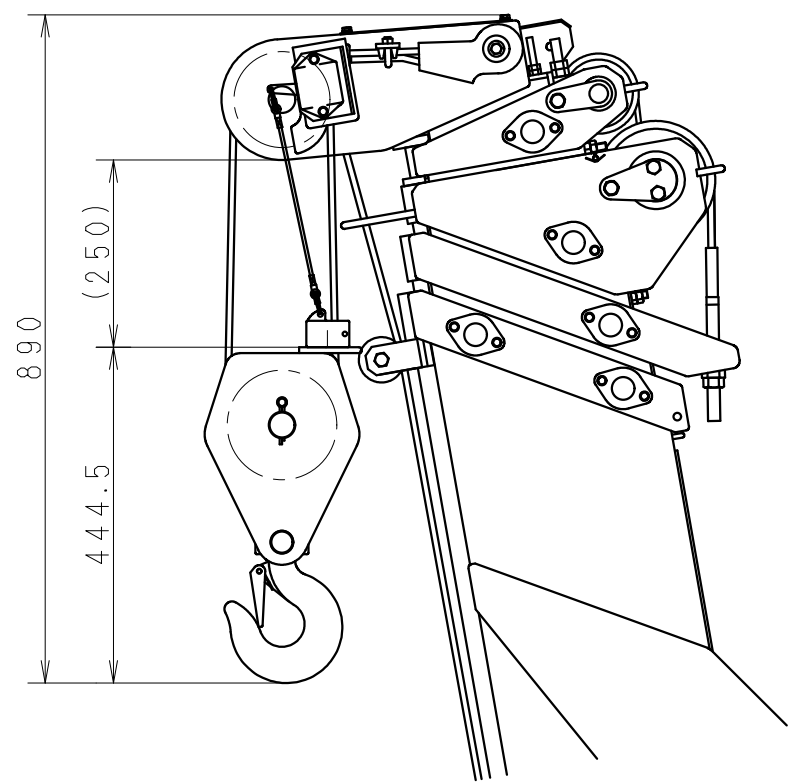


MC055C 作業半径／揚程図

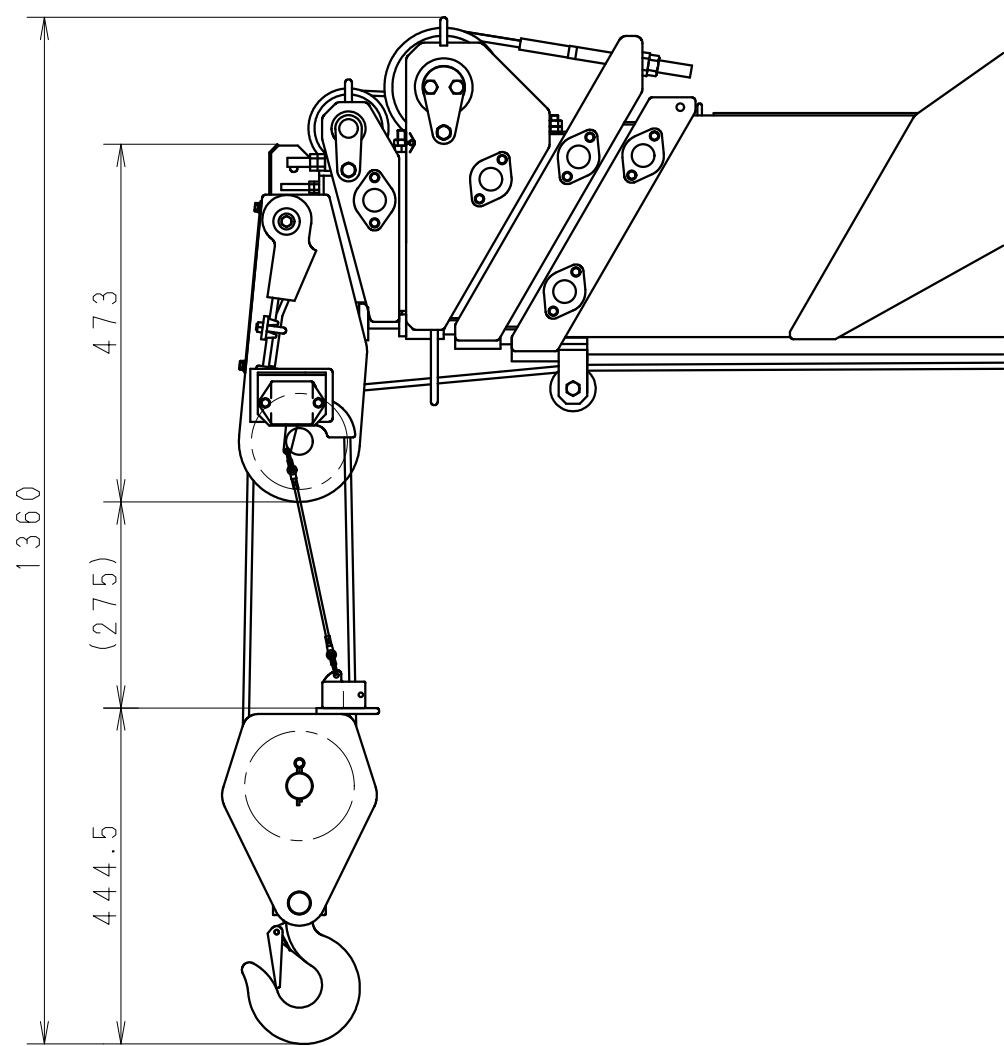


MC055C フック先端寸法図

ブーム角度80°



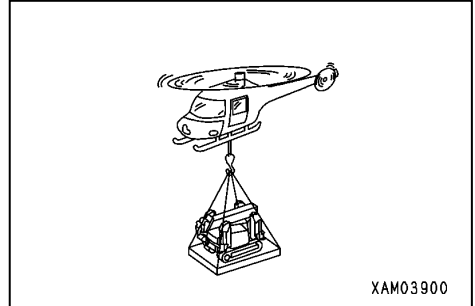
ブーム角度0°



MC055C 機械の吊り上げ方法

警告

- ・吊り上げに使用するワイヤロープやシャックル等の吊り具は、機械の質量(重量)に対して、十分強度のあるものを使用してください。
- ・機械を吊り上げるときは、必ず「走行姿勢」にし、アウトリガロータリ部にポジションピン(4本)を確実に差し込んでください。
機械の重心位置は、機械の姿勢が「走行姿勢」状態で決められています。また、「走行姿勢」状態にするときは、特にフックブロックを掛けるロープの張りを強くし、ブーム起伏シリンダが伸び難くなるようにしてください。
- ・機械を長時間吊り続けると、ブーム起伏シリンダが伸びて重心位置が変わり、機械のバランスをくずす危険があります。
吊り続ける時間は、10分間程度にしてください。
- ・機械を長時間(10分間以上)吊り続けるときやヘリコプターを使用して運搬するときは、右図のような運搬用具を使用し、安全に作業してください。
- ・以下の手順で示す方法以外で、機械を吊り上げてはいけません。
機械のバランスをくずす危険があります。



アドバイス

- ・クレーンを使用して吊り上げ作業をする人は、つぎの資格を取得した人でなければいけません。
- ・小型移動式クレーン運転技能講習修了証
(労働安全衛生法第61条、同施行令第20条、同安衛則第41条、クレーン則第68条)
- ・玉掛技能講習修了証
(労働安全衛生法第61条、同施行令第20条、同安衛則第41条、クレーン則第221条)
- ・機械の質量(重量)は、機械に貼り付けてある銘板を参照してください。
- ・諸元値は標準仕様であり、実装時のアタッチメント、オプションにより吊り上げ方法が異なります。その場合は、当社または当社販売サービス店に問い合わせしてください。

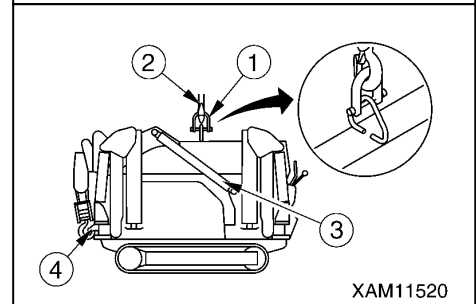
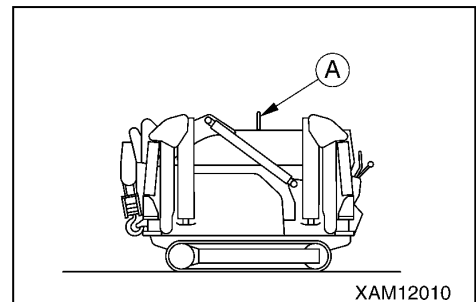
機械を吊り上げるときは、地盤の堅い平坦な場所で行ってください。

1. 機械を右図の「走行姿勢」にしてください。
2. ブーム上の④部にフック②を掛けるか、吊り具①を使用してフック②を掛けてください。

補足説明

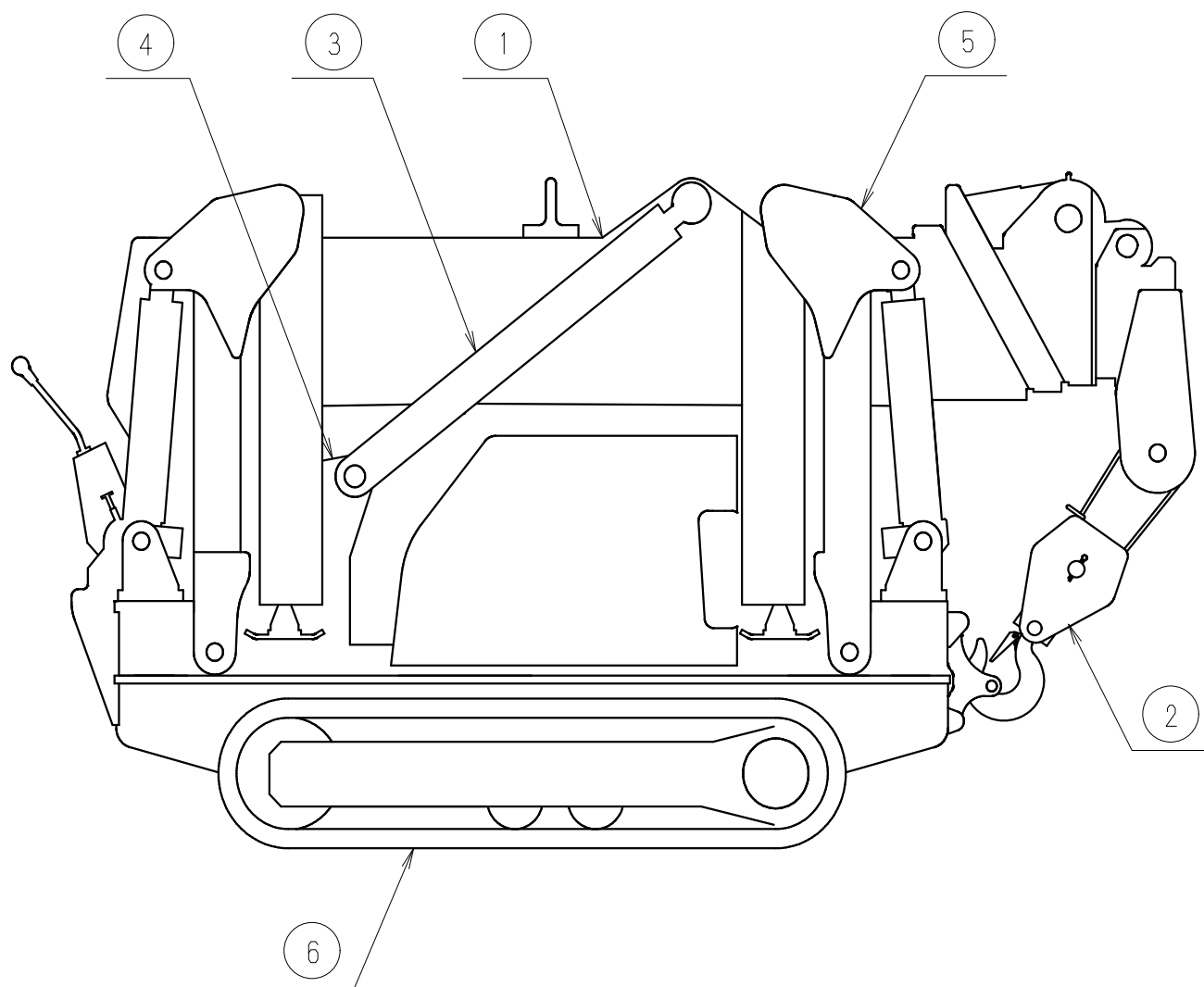
ブーム上の④部の位置が機械の重心位置になります。

3. 機械が地面を離れた直後(地切り)一旦停止し、機械が安定してからゆっくりと吊り上げてください。
4. 吊り上げた時、起伏シリンダ③ヘッド側の油圧回路の漏れによる姿勢の変化がないか、フック掛け④に緩みがないか確認してください。



MC055C 分解重量

本体重量：1580kg



	部品名	重量	備考
①	ブームAss'y	300kg	伸縮シリンダ含む
②	フックブロック	20kg	2本掛けフック
③	起伏シリンダ×2	20kg×2	
④	ポスト+ウインチ	80kg	ウインチワイヤ含む
⑤	アウトリガ×4	85kg×4	ロータリ、アウトリガシリンダ含む
⑥	ゴムクローラ×2	30kg×2	
-	上記以外のその他重量	700kg	燃料、作動油含む